

NPO法人支えあう会「α」2018年度連続講座

「がん」について学ぼう！話そう！

支えあう会「α」主催の連続講座も9年目を迎えました。
本年度も、様々な疾患、分野の専門家を講師としてお招きしています。
ご自身の病気とは違うテーマであっても、どのようにがんと向き合い、医療と向き合っ
ていけばいいのか、共に考える「場」となるようにという願いを込めた連続講座です。
皆様のご参加をお待ちしています。

第1回
7月1日（日）

「すべての患者さんに
緩和ケアを！」
～当院緩和ケアチームの取り組み～

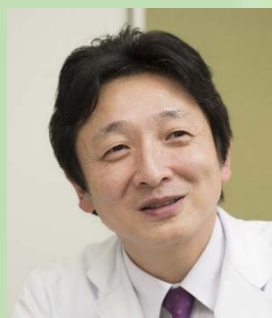


関根 龍一さん

亀田総合病院
疼痛・緩和ケア科部長

第2回
10月8日（月祝）

「プレジジョン・メディシン」と 「がんと向き合って20年」
「がんゲノム医療」を学ぼう！ ～患者・家族・取材者の立場から～



佐々木 治一郎さん

北里大学医学部
新世紀医療開発センター教授
北里大学病院集学的がん診療
センター長

第3回
12月2日（日）



上野 創さん

朝日新聞東京本社記者



【会場】 千葉市文化センター会議室

千葉市中央区中央2-5-1

- 【定員】 30名（当日参加は要問合せ）
- 【時間】 13：30～16：30 （13時受付開始）
- 【申込】 FAX・メール・電話
- 【受講料】 会員：無料
一般：1講義 1000円（参加費+資料代）
- 【主催】 NPO法人 支えあう会「α」
〒260-0802
千葉市中央区川戸町518-7
電話：090-9317-8488
FAX：043-308-5744
メール：info.alpha.chiba@gmail.com



※終了後は懇親会を行います。どなたでも参加いただけます（参加希望は当日スタッフへお知らせください）

【日程・講師プロフィール】

<p>第1回 7月1日 (日)</p>	 <p>関根 龍一さん</p>	<p>1997年滋賀医科大学医学部卒業。沖縄米海軍病院、亀田総合病院勤務を経て渡米。2001年米国NY市ベスイスラエルメディカルセンター内科研修後、2004年より同病院、メモリアルスローンケタリングがんセンター等でペインマネジメントと緩和ケアの専門研修を修了し2007年帰国。現在まで亀田総合病院緩和ケアチーム責任者を務める。日本緩和医療学会専門医。2007年の緩和ケアチーム発足当時より、がん、非がんの疾患を問わず、病院横断的なサポートを目標としている。</p> <p>緩和ケアは医療や看護の基本であり、すべての患者さんが当たり前に行われるべき医療・ケアです。緩和ケアの現状と課題についてぜひ一緒に学びましょう。</p>
<p>第2回 10月8日 (月祝)</p>	 <p>佐々木治一郎さん</p>	<p>1964年生まれ、1991年熊本大学医学部卒、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医。熊本大学医学部第一内科での勤務を経て2000年～2003年米国MDアンダーソンがんセンターで肺がん基礎研究に従事。2007年熊本大学医学部附属病院がん診療センター長就任を契機に、熊本県のがん診療地域連携やがんサロンの普及活動に従事。2011年北里大学医学部へ異動し、2014年2月より現職。細胞株研究から緩和ケア専門外来まで、「がんの治癒」と「患者さんの自分らしさの確保」を目指して、研究・教育・診療にあたっている。</p>
<p>第3回 12月2日 (日)</p>	 <p>上野 創さん</p>	<p>1971年生まれ、東京育ち。東京本社映像報道部次長。</p> <p>1997年、横浜支局員だった26歳のとき、肺に転移した精巣腫瘍(しゅよう)が判明。手術、抗がん剤治療を受け、2度再発。神奈川版に連載した記事「がんと向き合って」が本となり、日本エッセイスト・クラブ賞を受賞。</p> <p>社会部で教育や災害取材を担当、「がん」「自殺対策」「いのちの授業」などを継続して取材。現在も、朝日新聞の「がんと共生」をテーマにしたプロジェクトに参加している。</p>

【参加申込票】

以下に必要事項を記入の上、FAX又は郵送にてお申込み下さい。メールは本文に項目をご記入下さい。

氏名		講座	開講日	希望日に○
立場	がん体験者・家族・医療関係者・一般 (当てはまるものに○をおつけください)	第1回	7月1日	
住所		第2回	10月8日	
電話・FAX		第3回	12月2日	
E-mail				